

事業名	土採取等指導費		
細事業名	採石業・砂利採取業講習会開催費	財務コード	015601
担当部課室	森林環境 部 森林整備 課 林地保全・採石 担当 (内線)	6171	

調書番号	69
------	----

I 事業の概要

実施期間	始期 H13 年度 ~ 終期 年度						
実施主体	県(直営)						
目的	<table border="1"> <tr> <td>だれ(何)を対象に</td> <td>その対象をどのような状態にして</td> <td>結果、何に結びつけるのか</td> </tr> <tr> <td>県認可の採石・砂利採取業者等</td> <td>リスクアセスメントに関する高い意識が醸成されている</td> <td>県内採石場及び砂利採取場における災害防止</td> </tr> </table>	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか	県認可の採石・砂利採取業者等	リスクアセスメントに関する高い意識が醸成されている	県内採石場及び砂利採取場における災害防止
だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか					
県認可の採石・砂利採取業者等	リスクアセスメントに関する高い意識が醸成されている	県内採石場及び砂利採取場における災害防止					
内容	<p>第17回採石業者等技術講習会を実施。 日時:平成30年2月16日(金) 午前10時から正午まで 場所:山梨県山砕石事業協同組合 会議室 内容:講義「重機」の墜落災害等を防止する安全化と、生産性向上対策 講師:(一社)日本砕石協会 関東地方本部 労働災害防止対策特別委員会委員長 三橋春夫氏 参加者数:14事業者(25人)</p>						

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
活動指標	講習会参加(認可)業者数	目標	17	17	17	16	16	16	—
		実績(見込)	17	17	17	15	14	16	/
		達成率	100.0	100.0	100.0	93.8	87.5	100.0	/
		達成区分	b	b	b	b	b	b	/
成果指標	県内採石場及び砂利採取場における災害発生件数	目標	0	0	0	0	0	0	—
		実績(見込)	0	0	0	0	0	0	/
		達成率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	/
		達成区分	b	b	b	b	b	b	/
決算(予算) 単位:千円		30	30	30	30	30	55	0	

III 事業の評価(平成29年度の業績評価)

活動指標	b	評価	<p>これまで、講習会の開催を継続してきたことにより、必要な技術や知識が業者に正しく理解され、リスクアセスメントに関する高い意識が醸成されている。このことは、県内の採石場及び砂利採取場(洗浄含む)において安全管理及び災害防止の徹底に生かされ、災害が発生していない状態が継続していることの要因の一つであると評価できる。よって、本事業の意図した成果は上がっているものと考えられる。</p>
成果指標	b		

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。 ※平成3年以降、重篤な災害は発生していない。
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(平成31年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input checked="" type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている (※採石法第34条の6、砂利採取法第41条) <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他 ()
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能 <input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	リスクアセスメントに関する意識が高い従業員等は対策の見直し等の機会、まだ意識が低い従業員等は意識向上の機会となることが見込めるため。
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある <input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()
その他	説明	県内の採石場及び砂利採取場(洗浄含む)における安全管理及び災害防止のために、本事業を引き続き継続していくことが重要であることから、見直しの必要はない。
見直しの必要性	無	県内の採石場及び砂利採取場(洗浄含む)における安全管理及び災害防止のために、本事業を引き続き継続していくことが重要であることから、見直しの必要はない。

V 見直しの方向(平成31年度当初予算等での対応状況)

廃止	説明	関係団体と協議した結果、今後は県主催ではなく、関係団体主催により継続することとなったため。
----	----	---

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。